

政策の柱1：次代を担い地域を支える人材の育成・確保

＜政策1＞ 学校教育の充実

重点課題：自らの未来を切り開く児童生徒の主体的な学びの促進

- 児童生徒の社会への興味関心を高めるため、学校と地域が連携した学習機会や校外活動を充実
- 県内高等教育機関等と連携し、実社会における課題発見・解決能力向上に向けた教育を充実

＜政策2＞ 生涯を通じた多様な学びの機会の充実

重点課題：社会経済環境の変化を踏まえたリスクリングプログラムの提供

- 産学官の連携により、D XやG X等の企業ニーズを捉えたプログラムの提供や女性・高齢者・障がい者等の活躍促進に向けた学びの機会を充実

＜政策3＞ 若者の定着・回帰の促進

重点課題：若者の県内進学、県内就職の希望の実現

- 東北公益文科大学の公立化・機能強化に加え、県の資源（政策ノウハウ、統計データ等）を活かし、県内大学等における魅力的・実践的な教育カリキュラムの提供を支援
- デジタル技術や研究開発など大学等で学んだ専門知識を活かせる就業の場を拡大

＜政策4＞ 国内外の様々な人材の呼び込み

重点課題：子育て世代をターゲットとした移住・定住の促進

- 本県の豊かな自然や子育て・教育環境を体験できる親子向け移住体験プログラムを充実

重点課題：外国人材の受入拡大・定着促進に向けた多文化共生の地域づくり

- 県内の日本語学校卒業生等と県内大学のマッチング、海外での合同説明会等を拡充
- 多文化共生の推進に向け、モデル地域の設定により優良事例を創出し、他地域へ横展開

政策の柱2：競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化

＜政策1＞ やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成

重点課題：担い手の経営基盤の強化

- 農業者の減少に対応するため、農地の集約等により、基幹的経営体の経営基盤を強化するとともに、スマート農機による作業受託やデータ分析等を行う農業支援サービスの活用を促進

重点課題：多様な農業人材の確保

- 新規就農者や農繁期の働き手の確保に加え、東北農林専門職大学において高度人材を育成し、その人材の県内就農等を促進

＜政策2＞ 収益性の高い農業の展開

重点課題：県産農畜産物の高付加価値化

- 「つや姫」や「フルーツ王国やまがた」など戦略的なブランド化を推進するとともに、安定的な供給を実現するため、気候変動に対応した生産技術等の開発・普及を推進
- 現地輸出パートナーとの連携強化や県産品・観光も含めたプロモーションにより輸出を拡大

＜政策3＞ 「やまがた森林ノミクス」の加速化

重点課題：森林資源の管理・保全・活用の推進

- 林業経営基盤の強化に向け、スマート林業や高性能林業機械などの導入を支援するとともに、健康・観光分野等の多様な主体の連携による森林サービス（体験プログラム等）を創出

＜政策4＞ 付加価値の高い水産業の振興

重点課題：水産業の担い手の確保

- 漁業者の所得向上に向けて、養殖・蓄養技術の開発など水産物の高付加価値化を推進するとともに、移住定住施策等と連携した本県漁業の魅力発信を強化

政策の柱3：高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化

＜政策1＞ IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出

重点課題：社会経済環境の変化を捉えた県内企業の新事業創出や新分野参入の促進

- 県内企業におけるX Rや生成A I等の先端技術を活用できる人材の育成支援を強化
- 地域産業の競争力強化に向けたデジタル技術の活用促進と企業の実情に応じたデジタル化支援による新たな事業の創出

＜政策2＞ 地域産業の振興・活性化と中小企業等の成長・発展

重点課題：人口減少下における地域産業の持続性の向上・活性化

- 経営者の意識改革や企業への伴走支援を強化し、D X推進による生産性向上や人材の確保・定着に向けた就業環境の改善等を促進
- 地域内の企業との取引拡大を視野に、地域の中核となる企業の誘致・育成を推進
- 海外との人的ネットワーク等を活用した国際人材の受入や輸出の促進

＜政策3＞ 国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化

重点課題：観光マーケティングに基づいた観光の高付加価値化

- 旅行者の移動・決済等のデータを活用し、DMO等による戦略的な観光地づくりを促進
- 高付加価値旅行者などのターゲットを想定した上で、地域の多様な主体や他産業と連携し、本県ならではの地域資源を活用した本物の価値を体感できる観光コンテンツを造成・提供

政策の柱4：県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり

＜政策1＞ 大規模災害への対応など危機管理機能の充実強化

重点課題：自助・共助に対する支援や、避難所の環境整備等に関する支援の充実

- 住民の円滑な避難や配慮を要する避難者等へのきめ細かな支援に向け、デジタル技術を活用した情報収集と情報発信を強化
- 市町村等による迅速な避難所の立ち上げと質の高い避難生活に向け、訓練や備蓄等、平時からの備えを強化

＜政策2＞ 暮らしの様々なリスクへの対応力の強化

重点課題：高齢化やデジタル技術の進展など、社会情勢の変化に応じたリスクへの対応強化

- 福祉機関や金融機関等と連携した高齢者の金融被害防止対策を推進
- S N S等を利用した詐欺などの新たな犯罪の被害防止に向けた啓発活動を強化

＜政策3＞ 保健・医療・福祉の連携による「健康長寿日本一」の実現

重点課題：いつまでも健康で生きがいを感じられるための取組みの推進

- 山形大学による県民の健康に関するコホート研究の成果やスマホアプリ・ウェアラブル端末等、データやデジタル技術を活用した健康づくりを推進
- 高齢者の活躍促進に向け、時間や労力など高齢者に適した仕事やボランティアの掘起しを進めるとともに、効果的なマッチングの仕組みを検討

＜政策4＞ 多様な力の結集による地域コミュニティの維持・活性化

重点課題：地域コミュニティの新たな担い手の確保や様々な主体との連携促進

- 地域振興や地域課題の解決に関心がある企業や大学、個人（関係人口）と地域をマッチングする仕組みを構築するとともに、各地の取組みを広く紹介し、他地域の意欲を喚起

＜政策5＞ 総合的な少子化対策の新展開

重点課題：若い世代の結婚・子育ての希望の実現に向けた支援の充実

- 市町村が行う結婚支援や子育て支援サービスについて、区域を越えた連携や受入れを行うための広域的調整機能を強化
- 企業や経済団体と連携し、男性の育休取得や、家事・育児参画促進に向けた取組みを強化

＜政策6＞ 県民誰もが個性や能力を発揮し、活躍できる環境の整備

重点課題：包摂性・寛容性の高い地域社会の実現に向けた取組みの強化

- 固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスの解消に向け、家庭や地域はもとより、企業内研修の促進など職場での意識啓発を強化
- 障がい者の特性や意欲に応じた就業機会の拡大に向け、企業における業務の切り出しから雇用後のフォローアップまで関係機関と連携した支援を推進

政策の柱5：未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用

＜政策1＞ 暮らしや発展の基盤となるICTなど未来技術の早期実装

重点課題：多様な主体との連携による本県のデジタル化の加速

- 県民生活の利便性向上や地域課題の解決を図る先進的なモデル事業を先導する産学官連携の推進体制を構築

＜政策2＞ 国内外の活力を呼び込む多様で重層的な交通ネットワークの形成

重点課題：広域交通ネットワークの充実

- 山形新幹線の安全性・安定輸送の確保に向けた「米沢トンネル（仮称）」の早期事業化
- 県内の地域間・隣県とのさらなる交流拡大に向け、横軸の高規格道路の整備を促進

重点課題：地域公共交通の利便性の向上

- 地域の実情を踏まえた新しいモビリティサービスの導入を促進（自動運転の導入、ライドシェアの検討等）

＜政策3＞ 地域の豊かな自然と地球の環境を守る持続可能な地域づくり

重点課題：本県の自然環境の保全と経済成長の好循環の創出

- 本県の自然環境を活用した各種ツーリズム（エコツーリズム、ヘルスツーリズム、教育旅行等）や、環境と調和した再生可能エネルギーの導入拡大・地産地消等の取組みを促進

＜政策4＞ 地域の特性を活かし暮らしを支える活力ある圏域の形成

重点課題：多様な主体との連携によるまちの拠点性の向上・活性化

- 大学等との連携など若者が中心となった市街地の賑わい創出等の取組みを支援
- スポーツ・文化施設等の整備により交流機能の集積を促進

＜政策5＞ 持続可能で効率的な社会資本の維持・管理の推進

重点課題：人口減少に対応したインフラの維持・管理、長寿化

- 地域のニーズや環境変化に適応したインフラの集約・再編を促進
- A Iやドローン等のデジタル技術や民間活力の活用を推進